



網野学園

令和8年7月17日 終業式号

網野中学校だより



学校
HP

TEL : 0772-72-1030

FAX : 0772-72-1031

メール : amino-jhs@kyoto-be.ne.jp

校長より ～1学期の終業にあたって～

保護者・地域の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

過ぎてしまえばあっという間に感じるものなのかもしれませんが、大きな環境の変化に期待と不安を感じながら、いい意味での緊張感の中でスタートした令和8年度1学期も、早いもので終業となりました。同じようにドキドキしている周りの思いを感じたり、優しく接したりすることで、「新たな環境」を「いつも通りの普段」にするなど、環境の変化を成長のチャンスに換えました。

網野中学校では、「自分と向き合う力」「自分を高める力」「他者とつながる力」を大切に、よりよい網野中学校にさらに近づくよう力を合わせてきました。「自分と向き合い高める」ことを実感した場面がたくさんあったと思いますが、その中でも一番を挙げるとするならば、どの場面になるでしょうか。最も印象に残った「他者とのつながり」と言えば、何がそれにあたるでしょうか。節目にあたり、向き合い高めるという「縦の力」、つながるという「横の力」について、ご家庭でも振り返る時間を取っていただけるとありがたいです。

一例ではありますが、学校では生徒245名が生徒会スローガン「開花」～新しい自分を咲かせよう～を合言葉に、3年生が一層つながりを深めた修学旅行、春季大会・丹後ブロック陸上大会・丹後ブロック総合体育大会など、高い目標に向かって努力する運動系部活動、生徒会スローガン作成や地域での発表の機会に輝く文化系部活動など、様々な活躍が見られました。合唱祭でも、練習での真剣な姿と美しい歌声が重なり、心に響く感動的な雰囲気会場を包み込むなど、たくましく力を伸ばしていく生徒の姿が見られ、大変頼もしく感じました。

明日からの夏休み、1学期の手ごたえを確認するとともに、2学期の飛躍に備えるための大切な時間となるよう、ご家庭や地域でのご支援、どうぞよろしくお願いいたします。

校長 吉岡 秀一



網野学園 教育目標	網野学園 目指す子ども像
「ふるさとを愛し、 夢と希望をもって探究し続け、 未来を切り拓く子どもの育成」	○ 自分と向き合う子ども ○ 自分を高める子ども ○ 他者とつながる子ども

各種大会の報告

第18回塩見杯争奪体操競技・新体操大会

【団体の部】

男子 網野中学校 A	優勝
女子 網野中学校	優勝
男子 網野中学校 B	3位

【個人の部】

岸本大瀬：種目別 鉄棒	優勝
個人総合	2位
種目別 跳馬	2位
種目別 跳馬	2位
畑崎創介：種目別 ロープ	2位
個人総合	3位
種目別 鉄棒	3位
西田有幸：種目別 跳馬	優勝
個人総合	4位
福島杏珠：個人総合	2位
種目別 床	2位
種目別 跳馬	3位
種目別 平均台	3位
井上心音：個人総合	5位

第72回全日本中学校通信陸上競技大会KYOTO

峠下翔輝：1年男子100m	5位
本井花奈：女子円盤投	8位

※過日開催されました丹後ブロック総体および府総体の結果は2学期の学校だよりに掲載する予定です。

7月の行事予定

21日（火）三者面談（～31日）
23日（木）府大会【水泳】
24日（金）府大会【水泳】
27日（月）府大会【陸上・体操】
28日（火）府大会【陸上・剣道】
29日（水）府大会【男女ソフトテニス】

8月の行事予定

3日（月）京丹後SeaLabo（～7日）
10日（月）学校業休止日（～15日）
19日（水）吹奏楽部：網野こども園公演
29日（土）吹奏楽部：あみの夢こども園 夕涼み会

9月の行事予定

1日（火）始業式・伝達表彰等 体育祭クラス会議
7日（月）学園PTA子育て講演会（SNS）
14日（月）体育祭取組開始
20日（日）丹後ウルトラマラソン
21日（月）敬老の日
22日（火）国民の休日
23日（水）秋分の日
24日（木）学園小6体育祭の取組見学
30日（水）体育祭



市民の集い

7/12(日)に第76回“社会を明るくする運動”「市民の集い」が開催されました。その中で、昨年度に作文コンテストで優秀作品に選ばれた本校の「井上早優さん、小松袖葵さん」が作品朗読をアグリセンター大宮で行いました。2人とも堂々と思いのこもった朗読を披露してくれました。



京丹後 Sea Labo

8/3(月)から5日間にわたり、地元企業や大学生と共に英語で挑む最先端のクリエイティブ体験となる「京丹後SeaLabo」に「山松もかさん、手崎紫音さん、川戸綾乃さん」の3名が参加します。貴重な体験をとおして、大きく成長することを期待しています！

Kyotango Sea Labo



どこまでも広がる みらいのまちを創造する
地元企業関係者へのインタビューを通して、京丹後市のよさと課題を振り返り、
グループでアイデアを出し合いながら、課題解決案を練り上げていきます。
ワークショップは英語を介して行い、最終日は、英語で解決案を伝え合います。

